

1. 医学部保健学科教育

保健学科は平成14年度に開設し、本年度は第3回生が卒業した。開設以来の教育実績を評価し、保健学科の教育理念、教育目標をもとにカリキュラムのスリム化を目指して教育内容を精選し、3専攻の教育課程の調整を行いながら、平成18年度にカリキュラムの見直しを行った。主な内容は教育内容の精選による科目の編成・統合、必修・選択科目、共修科目、単位と時間数の見直しなどである。また、保健学科の特徴として打ち出している医学科との共修を増やす方向で検討を行った。

平成19年度から新カリキュラムでの教育がスタートした。従来のカリキュラムの展開と新カリキュラムの展開の同時進行となり、時間割調整の工夫が必要であったが、スムーズな展開が行えた。講義科目は1単位15時間を基本とし、学生の自主学習の時間を確保するとともにeラーニングを活用する等の授業方法の工夫に取り組んだ。また、保健学科の特色である3専攻の共修科目を「統合ケア科目」と位置づけ、全学教育との整合性を考慮しながら、「生活障害とチームアプローチ」、「統合ケア論」、「統合ケア実習」、「離島の暮らしと保健医療」に整理した。医学科と保健学科との共修科目は、従来から実施されていた「入門科目」、「医療と社会」があるが、本年度医学科の2年次「医と社会」の共修を試みた。受講学生は少なかったが、学びは大きかったようである。「統合ケア実習」は昨年同様医学科との共修は実施できず、保健学科の3専攻のみの共修であったが、順調に展開できた。「統合ケア特論」で統合ケア実習の学びを共有し、学習体験を深めることができた。「看護学セミナー」、「理学療法学セミナー」、「作業療法学セミナー」から「卒業研究」への継続もスムーズに行っていた。また、「卒業研究」の展開方法等についても、個人研究だけでなくグループ研究を取り入れる等、各専攻で創意工夫を行った。卒業研究の成果は学内発表だけでなく、学外での発表や投稿も行われるようになった。実習科目では、3年目を迎えて、看護学専攻では「地域看護学実習Ⅱ」や「老年看護学実習」、選択の「助産学実習」、理学療法学専攻では「臨床実習Ⅱ」や「臨床実習Ⅲ」、作業療法学専攻では「臨床実習Ⅱ」や「臨床実習Ⅲ」と充実した実習が展開できた。

全学的に授業の学生評価を全科目について行うこととなり、授業実施報告も行うことになった。保健学科でも一括申し込みで授業科目の学生評価を行い、次年度の授業計画に活かすように取り組んでいる。また、3回生を卒業させるに当たり、昨年同様教育課程の評価を行った。看護学専攻では、2年間の実績を基に、各領域で試験問題を追加し、WebCTを活用して解答する方法で卒業時の評価を行ったが、今回も参加学生数が少なく、十分な分析が行えなかった。3専攻とも今後さらに教育評価の充実を図っていく必要がある。加えて、国家試験の合格率が3専攻ともに100%になるように教育の充実をはかることが今後の課題である。

(平成19年度 保健学科長：松本 正、教務委員長：濱野香苗、学生委員長：長尾哲男、
入試委員長：千住秀明)

A. 全学教育

平成14年度にカリキュラムの大幅改正がなされて6年が経過し、運用は軌道に乗っている。しかし、昨年度までは1年次前期に開講される「教養セミナー」と保健学科の「入門科目」の「テーマ学習」の時期や内容に重複が見られる、学生は話し合いの為の時間調整に苦慮するという問題点があった。その点を考慮し、本年度からの新カリキュラムの運用に当たり、「生活障害とチームアプローチ」を1年後期に開講し、その中で3専攻共修によりチームアプローチについて学習するように工夫した。編入生は全学教育については一括認定されるが、幅広い知識を増やせるように、昨年度同様後期でのNICEキャンパス受講を薦めているが、活用している学生は少ない状況である。

平成19年度保健学科教員は11授業科目を16名が担当し、「教養セミナー」は12名が担当した。

B. 専門教育

本年度入学生から「専門科目」、「統合ケア科目」で授業科目を構成している。専門科目の構成および単位数は専攻により違いが見られる。看護学専攻では、「専門基礎科目」、「基礎看護学」、「臨床看護学」、「母子看護学」、「卒業研究」、「他専攻開放科目」で構成している。理学療法学専攻では、「専門基礎科目」、「基礎理学療法学」、「臨床理学療法学」、「臨床実習」、「卒業研究」、「他専攻開放科目」で構成している。作業療法学専攻では、「専門基礎科目」、「基礎作業療法学」、「臨床作業療法学」、「臨床実習」、「卒業研究」、「他専攻開放科目」で構成している。他専攻開放科目は選択科目であり、受講生数に変動がある。4年間の学習をする上での基礎的知識として受講が望ましい科目もあるため、引き続き新学期のオリエンテーション等での周知を徹底する等の工夫が必要である。また、新カリキュラムの開始と従来のカリキュラムの運用を平衡して行っていくために、時間割作成においては注意深い調整が必要であった。

1. 共修科目

保健学科の特色である3専攻の利点を活かし共修科目を設定している。必修科目は、1年次専門基礎科目の「人体の構造と機能」、「栄養・代謝学」、「病理学」、2年次「統合ケア論」、3年次「保健統計学」、「社会福祉」、4年次「医療英語」、「医療と社会」、「保健医療福祉システム論」である。また、「統合ケア科目」も必修の共修科目であり、1年次の「入門科目」、「生活障害とチームアプローチ」が開講された。

医学科と共修している1年次の「入門科目」は、医療専門職者の活動の実態を知ること、患者の療養生活を知り、チーム医療について考えることを目的に実施し、従来のカリキュラムの「病院実習」を踏襲した内容としている。実習は実質的な展開が6年目となり、オリエンテーションや受け入れ施設での実習も順調に行われた。実習体験は学生にとって今後の学習への動機づけになっており、早期体験実習としての意義は大きい。本年度、医学科2年次後期の「医と社会」を保健学科2年次生が共修する試みを行ったが、受講学生数は少数であった。しかし、グループで自主的に学習して発表する授業は学生にとって学びの多いものであった。また、一部医学科と共修している4年次の「医療と社会」（医学科「医と社会」保健学科「医療と社会」）は、オムニバ

スで開講しているが、3年間の学習を積み重ねた上での授業であるため、学生の関心も高く、深い学びができています。

2. 専門科目

講義→学内演習→臨地・臨床実習→セミナー→卒業研究と発展的に学ぶ学習形態をとっている。本年度から新カリキュラムの開始となり、授業科目名や単位数が変更された科目もあり、読替表を作成して対応している。学内演習は臨地・臨床実習で対象者と援助的人間関係を形成するためのコミュニケーション技術や必要な援助技術の習得のためにシミュレーションの使用やロールプレイなど多様な方法で展開している。看護学専攻では、看護学教育の在り方に関する検討会からの「大学における看護実践能力の育成の充実に向けて」や「看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標」等の報告や学生の看護技術到達状況の評価を受けて、領域別実習の開始前に事例を用いたコア演習を計画し、学内演習の充実に取り組んでいる。また、一部eラーニングを導入して授業展開をしている授業も見られる。

3. 臨地・臨床実習

実習にあたっては、実習要項の作成や実習指導者との連絡会等を開催し、学生が教育目標を達成できるように準備を十分行った。また、平成17年4月から施行された個人情報保護法を受けて、各実習において同意書を作成することや患者情報管理についての意識が定着してきている。

看護学専攻では1年次後期に「基礎看護学実習Ⅰ」、2年次後期に「基礎看護学実習Ⅱ」が開講された。3年次後期には「成人看護学実習」、「精神看護学実習」、「母性看護学実習」、「小児看護学実習」、「在宅看護学実習」がローテーションで開講された。4年次前期には「地域看護学実習」、「老年看護学実習」および選択で「助産学実習」が開講された。昨年度同様、「地域看護学実習」では長崎県の特徴とも言える地理的な条件もあり、「精神看護学実習」では遠方の実習施設であるため、eラーニングを導入して実習指導を効果的に展開した。

理学療法学専攻と作業療法学専攻では3年次後期に「臨床実習Ⅰ」が開講され、4年次前期に「臨床実習Ⅱ」、「臨床実習Ⅲ」が開講された。実習施設が多く、また地理的にも広範囲にわたる為、学生の学習効果を上げるために十分な調整を行った。

4. 助産師課程「助産学実習」履修者の選考

看護学専攻においては卒業時に看護師、保健師の国家試験受験資格に加え、選択で助産師国家試験受験資格が得られる。また、編入生に対しても助産師課程の学習の機会を設けている。しかし、「助産学実習」履修には選考基準を作成しており、20名の定員枠が設けられている。平成19年度は希望者の中から16名が選考された。

5. 編入学制度

平成19年度は、看護学専攻10名、理学療法学専攻2名、作業療法学専攻1名の3年次編入生を受け入れた。各専攻で上限93単位の既習得単位の認定を行い、オリエンテーションでは本学のカリキュラムの特徴や卒業要件、NICEキャンパスの受講等のガイダンスを行った。また、教務委員を中心に各専攻毎に、履修指定科目、選択科目等の個別指導を行った。特に看護学専攻では、保健師の免許を得るための保健師国家試験受験に必要な科目等の履修について、NICEキャンパスの受講も含めて3年次後期の時間の過ごし方等の個別指導を行った。

(文責：医学部保健学科 教務委員長 濱野香苗)

表1 平成19年度医学部保健学科教員の全学教育への参画

A. 全学教育授業科目担当の医学部保健学科教員

分野	授業科目名	担 当 教 員
共通基礎科目	教養セミナー	中島久良、濱野香苗、吉村俊朗、宮下弘子、 岩永喜久子、岩永竜一郎、折口智樹、 菊池泰樹、鶴崎俊哉、入山茂美、岡田純也、 野村亜由美
健康・スポーツ科目	健康科学	太田保之、森下路子、中尾理恵子
	健康・スポーツ科学	浦田秀子
開放科目	国際保健看護学	入山茂美
外国語科目	総合英語Ⅰ	園田健二
	総合英語Ⅱ	
	総合英語Ⅲ	
	英語コミュニケーションⅢ	
人間科学科目	人間の科学	松本 正、宮原春美
	人間と環境	長尾哲男、東嶋美佐子、松坂誠應
	生体の構造	大石和代、加藤克知、松本 正、中尾優子
総合科学科目	火山と災害	太田保之

B. 全学教育関連委員会の医学部保健学科委員

委 員 会		委 員
教務委員会		濱野香苗
全学教育実施委員会	教養セミナー専門委員会委員	太田保之
	教養特別講義専門委員会委員	田代隆良
	情報処理科目専門委員会委員	菊池泰樹
	健康・スポーツ科学専門委員会委員	浦田秀子
	外国語科目専門委員会委員	園田健二
	人文・社会科学専門委員会委員	宮原春美
	人間科学専門委員会委員	松坂誠應
		松本正
	自然科学専門委員会委員	菊池泰樹
		折口智樹
村田潤		
総合科学専門委員会委員	宮下弘子	
留学生用科学専門委員会委員	入山茂美	

表2 平成19年度 1年次病院実習施設

授業科目	施 設 名	
医と社会 入門科目	長崎大学医学部・歯学部附属病院	健友会上戸町病院
	医療法人稲仁会三原台病院	国立病院機構長崎病院
	特定医療法人春回会長崎北病院	医療法人厚生会虹が丘病院

表3 平成19年度 看護学専攻実習施設

授業科目	施設名	授業科目	施設名
基礎看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院	地域看護学実習Ⅱ	長崎県西彼保健所
成人看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院		長崎県五島保健所
精神看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院		島原市保健センター
	地域活動所 長崎ダルクふぁにーふぁくとりー		大村市すこやかセンター
	医療法人慈愛会向井病院		佐世保市保健所
母性看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院		長崎市中央保健センター
小児看護学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院		長崎市北保健センター
	住吉保育園		長崎市地域保健課
	葉山保育園		長崎市三和行政センター
地域看護学実習Ⅰ	十善会訪問看護ステーション		長崎市香焼行政センター
	フランシスコ訪問看護ステーション		長崎市野母崎行政センター
	訪問看護ステーションひまわり		長崎市琴海行政センター
	訪問看護ステーションコスモス		長崎市伊王島行政センター
	訪問看護ステーション鳴見		長崎市高島行政センター
	訪問看護ステーションYOU東長崎	医療法人稲仁会三原台病院	
地域看護学実習Ⅱ	長崎県県央保健所	老年看護学実習	特定医療法人春回会長崎北病院
	長崎県県南保健所	助産学実習	長崎大学医学部・歯学部附属病院
	長崎県県北保健所		医療法人瀧レディースクリニック
	長崎県西彼保健所		井上産科婦人科医院
	山崎産婦人科医院		

表4 平成19年度 理学療法学専攻実習施設

授業科目	施設名	
臨床実習	聖隷三方原病院	医療法人厚生会虹が丘病院
	星ヶ丘厚生年金病院	長崎北徳州会病院
	公立みつぎ総合病院	医療法人後藤会ながさき内科・リウマチ科病院
	国立病院機構嬉野医療センター	光善会長崎百合野病院
	国立病院機構長崎病院	日浦病院
	長崎大学医学部・歯学部附属病院	長崎友愛病院
	長崎市立市民病院	長崎県立こども医療福祉センター
	日本赤十字社長崎原爆病院	健康保険諫早総合病院
	長崎記念病院	西諫早病院
	和仁会病院	三校会宮崎病院
	十善会病院	慧明会貞松病院
	特定医療法人春回会長崎北病院	長崎労災病院
	三菱重工長崎造船所病院	潤和会記念病院
	光晴会病院	佐世保市立総合病院
	保善会田上病院	

表5 平成19年度 作業療法学専攻実習施設

授業科目	施設名	
臨床実習	愛野記念病院	福岡市立子ども病院感染症センター
	健友会上戸町病院	みさかえの園むつみの家
	夢のみずうみ村防府デイサービスセンター	みさかえの園あゆみの家
	特定医療法人春回会長崎北病院	佐世保市子ども発達センター
	長崎大学医学部・歯学部附属病院	崎山保育所ひまわりルーム
	長崎労災病院	誠愛リハビリテーション病院
	西諫早病院	福岡市立心身障がい福祉センター
	長崎県立島原病院	長崎県立精神医療センター
	国立病院機構長崎病院	国立病院機構肥前精神医療センター
	湯布院厚生年金病院	西海病院
	和仁会病院	三和中央病院
	耀光病院	真珠園療養所
	農協共済別府リハビリテーションセンター	園田病院
	長崎記念病院	田川療養所
	光善会長崎百合野病院	天神病院
	介護老人保健施設三原の園	西脇病院
	介護老人保健施設恵仁荘	宮原病院
	介護老人保健施設フォスター島原	みどりの園病院
佐賀整肢学園こども発達医療センター	可也病院	
長崎県立こども医療福祉センター		

表6 平成19年度 統合ケア実習施設

授業科目	施設名	
統合ケア実習	介護老人保健施設三原の園	十善会訪問看護ステーション
	介護老人保健施設うぐいすの丘	長崎市医師会保健福祉センター
	介護老人保健施設中の里	介護老人保健施設リハビリセンターふくえ
	介護老人保健施設恵仁荘	対馬いづはら病院
	特別養護老人ホームびわの園	上対馬病院
	介護老人保健施設ナーシングケア横尾	平戸市民病院
	特別養護老人ホームなでしこ荘	池田病院
	訪問看護ステーションコスモス	琴海町立病院
	聖フランシスコ訪問看護ステーション	特別養護老人ホームサンハイツ
	訪問看護ステーションYOU東長崎	特別養護老人ホームオレンジの丘